

平塚市地球温暖化対策実行計画（24年2月策定）に基づく二酸化炭素排出量推計

1 平塚市地球温暖化対策実行計画に基づく二酸化炭素排出量削減目標

平成20年に「地球温暖化対策の推進に関する法律」が改正され、区域の自然的社会的条件に応じ温室効果ガスの排出抑制等を行うための施策に関する事項を定めることが義務付けられました。

このため、平塚市では、地球温暖化対策地域推進計画（平成19年度～平成23年度）に代わり、平成24年2月に「平塚市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化防止に取り組むことを目指しています。

「平塚市地球温暖化対策実行計画」では、平塚市域から排出される温室効果ガスの削減目標を掲げています。平成24年度からのCO₂排出量は、こちらの計画で進捗管理を行います。

< 4つの施策の柱 >

- 1 一人ひとりの自主的な地球温暖化対策を広げる
- 2 都市の低炭素化と気候変動への適応を図る
- 3 低炭素となる新たなエネルギー技術を活用する
- 4 ごみを減らし、廃棄物・排熱を有効に使う

平塚市域の二酸化炭素排出の削減目標

基準年（平成2年度〈1990年度〉）
193万6千トンの排出

計画策定時（平成20年度〈2008年度〉）
177万5千トンの排出

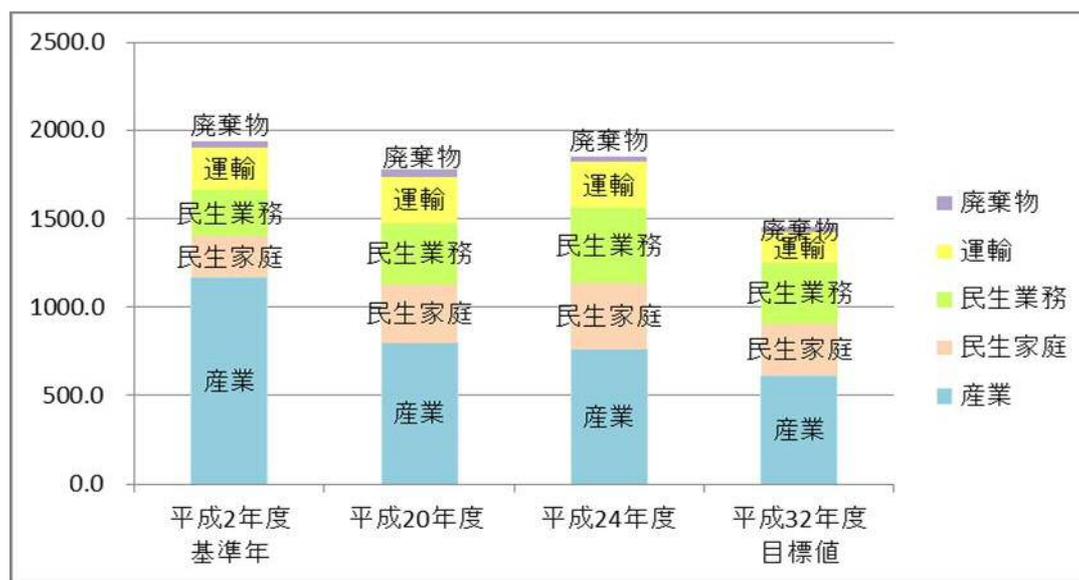
目標年（平成32年度〈2020年度〉）までに
基準年比で25%削減します

長期のめざすべき方向は
平成62年度〈2050年度〉までに基準年比で80%の削減です

2 平塚市の二酸化炭素（CO₂）排出量推計

(単位:千 t-CO₂)

	平成2年度 基準年	平成20年度 計画策定時	平成24年度 ①	平成32年度 目標値②	※現状で求められる 削減量 ①-②		
CO₂ 総排出量	1935.9	1775.2	1,853.4	1,452	399	-22%	
部門別 排出量	産業	1167.7	795.9	762.4	613	149	-20%
	民生家庭	235.8	331.9	374.8	293	82	-22%
	民生業務	257.5	350.3	424.9	345	80	-19%
	運輸	241.8	258.5	258.3	171	87	-34%
	廃棄物	33.1	38.6	33.0	30	1	-3%



3 二酸化炭素排出量の推移について

- (1) 平成2年度（基準年）と比べて、二酸化炭素の排出量が約4.4パーセント減少しました。
- (2) 平成20年度（計画策定時の参考年度）と比べると、二酸化炭素の排出量が約4.4パーセント増加しました。その理由は、主に次の2つが考えられます。
 - ・ 平成23年3月の東日本大震災以降、原子力に代わる発電電力量確保のため化石燃料使用量が増えたことに伴い、電力使用量当たりの二酸化炭素排出量が約13パーセント（排出係数比）増加しました。

- 経済産業省や商工会議所などによる各種景気指標の動向から見て、サービス業や小売業などの売り上げが、前年度以前と比べて、依然として厳しい経済情勢の中で改善しています。この動きに伴い、平塚市内でも民生業務部門のエネルギー消費量が増加していると考えられます。